

ボートレース発祥の地

大村ボートレース場



ボートレース大村は、昭和27年、波静かな大村湾を臨む玖島崎において、全国で初めてモーターボートレースを開催した「ボートレース発祥の地」です。水上を疾走するモーターボートの勇姿に、今もなお多くの皆さまから声援をいただいています。

モーターボート事業の収益は、福祉や教育事業、道路や下水道のインフラ整備など、大村市の社会基盤や福祉の充実に大きく寄与しており、これまで市の財政に約600億円を繰り入れていきます。平成22年度からは、この繰入金を活用して次世代の大村市を担う子どもたちの健やかな成長を願い、「大村市こども夢基金」を創設し、子育て支援の充実のために活用しています。

平成27年には、明るく開放的でユニバーサルデザインを取り入れた新スタジアムが完成しました。平成28年には、チームラボのイベント開催やエクストリーム広場を新設し、若者や家族連れでも楽しめる新たなレジャー施設として親しまれています。



チームラボは家族連れに大盛況



白熱するレース